

平成19事業年度

決 算 報 告 書

【 第 4 期 】

自 平成19年 4月 1日

至 平成20年 3月31日

国立大学法人 京 都 大 学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人 京都大学

(単位:百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	60,874	60,874	-	
施設整備費補助金	12,134	12,134	-	
補助金等収入	150	3,040	2,890	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	153	153	-	
自己収入	37,384	38,629	1,245	
授業料、入学金及び検定料収入	13,242	12,975	△ 267	
附属病院収入	23,635	24,680	1,045	(注2)
雑収入	507	974	467	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	18,834	22,872	4,038	(注4)
引当金取崩	-	58	58	(注5)
長期借入金収入	558	558	-	
承継剰余金	-	8	8	(注6)
目的積立金取崩	5,457	2,362	△ 3,095	(注7)
計	135,544	140,688	5,144	
支出				
業務費	91,455	87,855	△ 3,600	(注8)
教育研究経費	67,990	63,009	△ 4,981	
診療経費	23,465	24,846	1,381	
一般管理費	7,457	6,470	△ 987	(注9)
施設整備費	12,845	12,845	-	
補助金等	150	3,039	2,889	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	18,834	23,903	5,069	(注11)
長期借入金償還金	4,803	4,803	-	
計	135,544	138,915	3,371	
収入-支出	-	1,773	1,773	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が2,890百万円多額となっております。
- (注2) 附属病院収入については、外来患者数の増や平均在院日数の短縮等による稼働額の増により、予算額に比して決算額が1,045百万円多額となっております。
- (注3) 雑収入については、主として施設利用料収入及び有価証券利息等により、予算額に比して決算額が467百万円多額となっております。
- (注4) 予算段階では予定していなかった国からの受託事業や科学研究費補助金等(間接経費)、民間からの共同研究や寄附の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が4,038百万円多額となっております。
- (注5) 引当金取崩については、賞与引当金の取崩を行ったため、予算額に比して決算額が58百万円多額となっております。
- (注6) 承継剰余金については、特定共同指導に係る診療報酬の返還を行ったため、予算額に比して決算額が8百万円多額となっております。
- (注7) 目的積立金取崩については、宇治おうばくプラザの整備、看護体制の拡充支援事業、職員宿舎の整備等の一部を平成20年度以降に実施することとしたため、予算額に比して決算額が3,095百万円少額となっております。
- (注8) (注7)に示した理由や退職予定者が当初見込みを下回ったため等により、予算額に比して決算額が3,600百万円少額となっております。
- (注9) (注7)に示した理由や経費の節減等により、予算額に比して決算額が987百万円少額となっております。
- (注10) (注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,889百万円多額となっております。
- (注11) (注4)に示した理由や平成17年度に受け入れた寄附金による病棟施設整備事業等により、予算額に比して決算額が5,069百万円多額となっております。なお、前年度以前の繰越額による支出額は5,416百万円となっております。